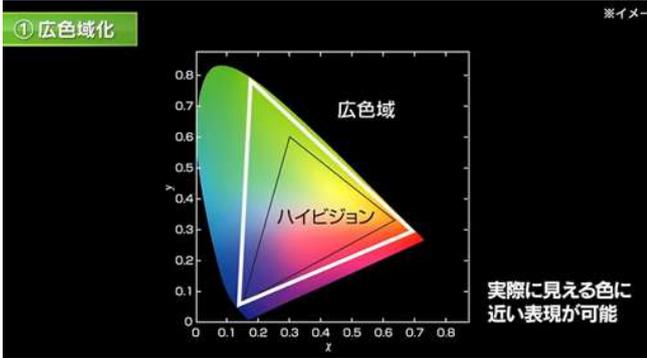


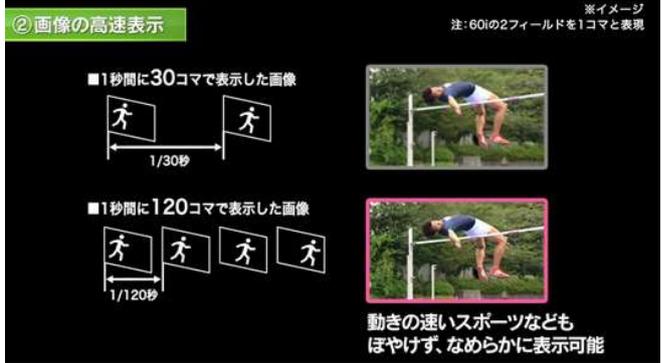
4K8Kとは？

これまでと何が違うのか？



広色域化

表現可能な色の範囲が大幅に拡大する。



画像の高速表示

動きの速い映像も「ぼやけず」「なめらかな」表現が可能になる。



多階調表現

色や明るさの変化が滑らかになりより自然な表現が可能になる。



輝度

映像で表現できる明るさの範囲が大幅に拡大する。

4K8Kは超高精細度テレビジョン（スーパーハイビジョン）放送とも呼ばれ、画素が増えて密度が高くなり、HDR技術により、現在の放送と比べて各段に美しくなります。また、8K放送は22.2マルチチャンネルにより、その場所にいるかのような臨場感あふれる音響を体感できます。



画素数 約4倍
画素数 約16倍



4K・8Kは、テレビを大型化しても詳細感が損なわれないので、視野が広がり、新しい臨場感が味わえます。

現在のデジタル放送（フルハイビジョン）
1,000画素=1K(キロ)という単位で表現され、水平方向の1,920画素(約2,000画素)から「2K」と呼ばれています。

放送開始までの工程表

		2017年	2018年	2020年
地上波		適切な機会をとらえて、都市部の地上波における伝送実験等を検討		
衛星放送 (新4K8K衛星放送)	BS (右旋)	4K・8K 試験放送	4K 実用放送	東京オリンピック パラリンピックにおいて 多くの中継を 4K・8K で放送予定
	BS (左旋)		4K・8K 実用放送	
	110°CS (左旋)	4K・8K 試験放送	4K 実用放送	
	124/128°CS	4K 実用放送		
ケーブルテレビ	4K 実用放送 /8K に向けた実験的取組			多くの視聴者がテレビで 4K・8K 番組を楽しめる予定
IP TV 等	4K 実用放送 /8K に向けた実験的取組			

新4K8K衛星放送対応製品が必要になります。

出典：総務省主催で開催された会合でのロードマップを参考に作成。

4K8K衛星放送の周波数帯域

4K8K衛星放送は、従来の2071MHzより**高い周波数3224MHz**までを使用します。
放送サービスによっては、周波数帯を保証する機器に交換する必要があります。



受信機（テレビ）

過去に販売されている多くの2Kテレビ・4K対応テレビ、8K対応テレビには、新4K8K衛星放送の番組を受信する機能は搭載されていません。

4K8K衛星放送を受信するには、新しい規格に対応した受信機（テレビ、チューナー等）が必要になります。また、この受信機には、4K8K衛星放送に対応する新たなCAS（ACASチップ）が必要となります。

1 既存テレビ（2K）をお持ちの方は



2 既存テレビ（4K）をお持ちの方は



3 既存テレビ（4K） or （4K8K）をお持ちの方は



※ アンテナ本体及びミキサー・ブースター・分配器・分岐器・直列ユニット・分波器・ケーブル等を4K8K対応の製品に取り換える必要があります。（地デジアンテナと接続することで各室でテレビ放送を楽しむことができます）

アンテナ設備のご相談は弊社まで！！
見積りは無料です。

株式会社 ヨシケンコーポレーション

代表取締役 河本 英樹

〒 791-1105

愛媛県松山市北井門4丁目19-3

TEL 089-956-8709

FAX 089-956-7660

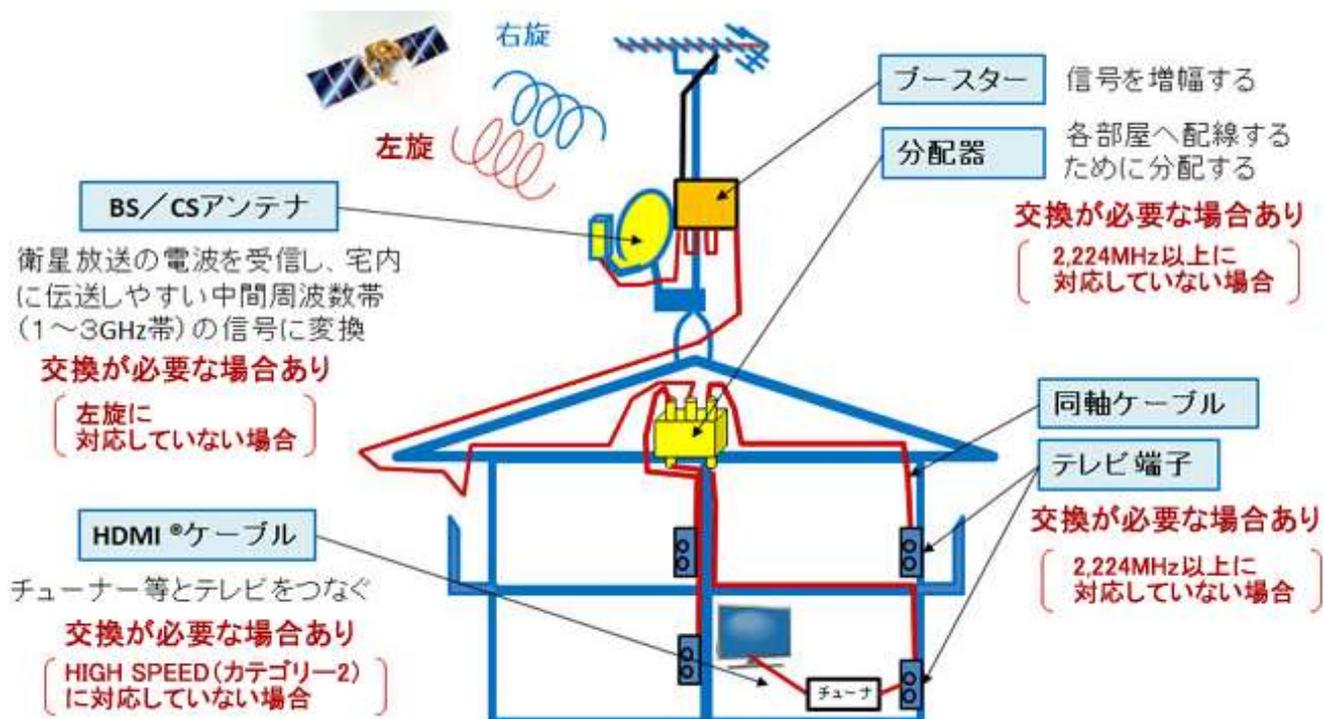
※ スカパー！プレミアムサービスは専用アンテナ（CSアンテナ）がないと視聴できません。
《スカパー！は有料放送です》

4K8K衛星放送電波とは

- ① 放送衛星から送信される電波は、らせん状に回転しています。
- ② ”らせん”の向きを変えることでチャンネルを増やすためBS・110度CSの4K放送では**従来（右旋）の電波に加えて（左旋）も使われる予定**です。
- ③ この新しい**（左旋）**の4K8K放送を視聴するためにはアンテナや付属機器及びケーブル等が**対応可能な機器**に交換が必要です。
- ④ 放送衛星からの電波は、アンテナで受信した後、宅内の設備に適した周波数の信号に変換されます。
- ⑤ 左旋の周波数は従来の周波数より高い周波数を使用しているため、これに対応し機器及び配線等が必要です。



全ての左旋の放送を視聴するためには、「3224MHz」に対応した配線等（分配器、分波器、ブースター、テレビ端子等）に交換が必要となります。



現在スタートしている／これから始まる4K・8Kサービス

このようにハイビジョン放送を超える魅力的な4K8K放送ですが、「4K」は既にいくつかの放送やインターネットサービスで始まっています。

現在、衛星放送の1つである124度、128度CS放送、ケーブルテレビ、IPTVなどで「4K」サービスが提供されています。

2018年12月からは、BSと110度CSにより「新4K8K衛星放送」が新たに始まりました。



新しい放送を提供する事業者も2017年1月に決定しています。

2018年12月から順次放送が開始されています。

BS・110度CSによる4K・8K放送を提供する事業者		
BS放送		4K
右旋		
NHK		
(株)ビーエス朝日		
(株)BSジャパン		
(株)BS-TBS		
(株)BS日本	2019年12月1日～予定	
(株)ビーエスフジ		
左旋		
SCサテライト放送(株)		
(株)QVCサテライト	2018年12月31日～予定	
(株)東北新社メディアサービス		
(株)WOWOW	2020年12月1日～予定	
NHK		8K
110度CS放送	(株)スカパー・エンターテイメント	4K

4K8K放送衛星



2016年12月22日打上げ成功

2017年9月30日打上げ成功

株式会社 ヨシケン コーポレーション
YOSHIKEN

代表取締役 河本 英樹

〒 791-1105

愛媛県松山市北井門4丁目19-3

TEL 089-956-8709

FAX 089-956-7660